

秋の永代経のご案内

長善寺

春の永代経は新型コロナウイルスのため寺院のみで行いました。

新型コロナウイルスの影響で今年はいろいろな行事が取りやめとなりました。そして慣れるに従ってその恐怖も少しずつ薄れてきました。

でも、今から百年前に起こったスペイン風邪のことを忘れてはならないと思います。

過去帳を見ると、大正七年の十一月より翌年夏まで流行性感冒が流行り世界的に死者多数と記してあり、長善寺の檀家だけでも一五名の方が亡くなっておられます。その中で十三名が子どもさんというのが悲しい記録で、子どもを亡くされた親の気持ちを思うと辛くなります。

当山の秋の永代経は一時中止も考えましたが、午前中のみで御斎(食事)はなしで執り行うことにしました。

いつもなら別院で研修会があったり、組でも連研があったりと仏法を学ぶ機会があるのですが、全て中止となり、今年はずいぶん寂しいです。ですから、せめて永代経だけでも願ったわけです。(報恩講の御斎も無理でしょう)

永代経は先立たれた方たちを偲ぶとともにその恩を思い、この私の短い生の中で、先人(善知識)と値遇し、仏さまと値遇できた法縁を喜ぶ法会です。今回は午前中のみですが、心から務めさせていただきます。

なお、新型コロナウイルスの対策として、消毒と換気を心がけます。ご参拝の皆様にはソーシャルディスタンスとマスクのご用意をお願いします。

称名

一、日時 令和二年 九月二十日(日)

日中 十時～十一時半 お勤めと法話

正信偈和讃 法話「寒念仏和讃とげんげんばらばら」

一、永代経加入のご先祖様